

World Food
ProgrammeProgramme
Alimentaire
MondialPrograma
Mundial de
Alimentosبرنامج
الأغذية
العالمي

WFP プレスリリース

2013 年 12 月 13 日

知花くららさん、国連WFP日本大使に任命される

東京発 –日本のモデル、知花くららさんが 13 日、WFP 国連世界食糧計画としては初となる国連 WFP 日本大使に任命されました。来日中のエリザベス・ラスムーソン国連 WFP 事務局次長（パートナーシップ・ガバナンス担当）が東京で開催された任命式で発表し、知花さんの貢献に対する象徴的なお礼として 2 ユーロの WFP 記念硬貨を贈りました。

「私たちが生きている間に、飢餓は撲滅できるのではないかと考えています。私たち一人ひとりがそのためにできることがきっとあるはずです。飢餓のことや、世界中の最貧・危険地域で、国連 WFP がどのように飢餓に立ち向かっているか、私自身の言葉でお話しできることは光栄であり、大変誇りに思います。皆さんお一人お一人に、自分に何ができるか考えていただけたらと思います。どんなに小さなことでも、あなたの力で、変化を起こすことができるのです。」と知花さんは述べています。

知花さんは、これまで飢餓問題に熱心に関わり続けてきました。2007 年の WFP オフィシャルサポーター就任以来、国連 WFP の活動現場を毎年訪れ、飢餓が人々にどのような影響を与えるのか、現地の人、特に母親や子どもと直接話し、見てきました。

これまでに、干ばつに見舞われたザンビアの農村（2008 年）、フィリピンの台風被害で家を失った人たちのキャンプ（2009 年）、紛争終結後のスリランカの村（2010 年）、東日本大震災の津波の被災地（2011 年）、タンザニアの貧困地域の学校（2012 年）、そして直近では母子栄養支援を行うエチオピアの保健所を訪れました。

知花さんは、飢餓や、飢餓をなくそうとする国連 WFP の使命について、メディアや公でのイベントで積極的にメッセージを広めてきました。特に、子どもの栄養状態を改善し、就学率を上げる国連 WFP の学校給食プログラムを強力に支援、推進しています。



「この6年間、知花さんが国連 WFP オフィシャルサポーターとして、飢餓に苦しむ人たちを助けるため、大変多くの貢献、尽力をされる姿を私たちは見てきました。知花さんはとりわけ、彼女の存在なくしては国連 WFP について知ることがなかったかもしれない若い女性に対して、力強く影響力のあるメッセンジャーとして活動してこられました。そこで本日、国連 WFP が奉仕する人々にさらに恩恵をもたらす、飢餓のない世界をつくれるよう、知花さんとさらに強いパートナーシップを締結します。」とラスムーソン事務局次長は述べました。

大使となって最初の訴えとして、知花さんはファンに対し、台風 30 号の被害を受けたフィリピンへの支援を一緒にして下さるよう呼びかけています。国連 WFP の日本語サイトをご覧ください。 (www.wfp.org/jp).

#

WFP 国連世界食糧計画は、飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関です。2012 年には 80 か国で 9700 万人に食糧支援を行いました。 www.wfp.org/jp

Twitter をフォローしてください。 @wfp_jp